

自治連よなご

第53号

発行 米子市自治連合会
(事務局 米子市企画部市民自治推進課内)

平成29年(2017年)10月1日発行

編集 『自治連よなご』編集委員会

米子市自治連合会 平成29年度定例総会開催

5月20日(土)米子市文化ホールを会場に定例総会を開催しました。表彰や事例発表、事業計画等決定、新年度役員選出などが行われ、今年度のスタートとなりました。

■表彰状贈呈 (自治会長20年在任) 2名

義方地区 (三本松4区自治会) 斎賀 利夫 氏
夜見地区 (夜見3区自治会) 矢倉 強 氏

■事例発表 永江地区 永江地区自治連合会 淀江地区 小波浜自治会

*前年度鳥取県頑張る住民団体等知事表彰受賞団体

■感謝状贈呈 (自治会長10年在任) 9名

啓成地区 (富士見町2丁目自治会) 田村 保之 氏
就将地区 (明治町自治会) 小原 育夫 氏
住吉地区 (上後藤3区自治会) 松本 正則 氏
福生西地区 (福生西3区自治会) 武田 幸治 氏
福米東地区 (米原1区自治会) 小林 明美 氏
崎津地区 (崎津6区自治会) 友森 篤夫 氏
夜見地区 (夜見5区自治会) 矢倉 闊道 氏
永江地区 (永江7区自治会) 松井 克英 氏
淀江地区 (宝ヶ瀬自治会) 寺嶋 正視 氏

ごあいさつ

今年度の定例総会に於いて、米子市自治連合会長にご選任いただきました福生西自治連合会の福景順一でございます。非力な私ではございますが、会員の皆様を始め関係各位のご指導ご協力を賜り、誠心誠意誠実に職務を全うする所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻を心からお願いいたします。

さて、昨今の自治会活動は低迷化の傾向に在ると言われています。その原因は、少子高齢化、自治会未加入者の増加、若年層の無関心化等いろい

米子市自治連合会長 福景 順一



ろございます。自治会活動の目的である「安全、安心、明るい地域づくり、住民福祉の向上、災害時の安全の確保」等の達成を目指し活動しなければならないと思います。

会員の皆様と連携を深め、対話と情報の共有をし、前進しなければならないと思います。自治会活動にご理解とご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

防災特集

「防災訓練にあたって」

昨年10月に鳥取県中部を震源とする地震が発生しました。多くの家で屋根瓦が落ちたり壁が崩落するなどの被害があり、住居の損傷がひどい地域では住民が避難生活を強いられたことは記憶に新しいところです。

最近の全国的な地震の発生状況を考えると、この米子市で大きな地震が発生することも想定しておかねばなりません。特に、大災害があった場合に避難する施設の中で、一番多くの住民が避難できるのは学校です。その学校が避難所になった際に、避難者が安心して安全にそしてなるべく快適に過ごすことができるよう、日頃からいろいろな想定や心づもりをしておく必要があると考えています。

そんな中で、啓成・車尾地区にある東山中学校では学校が避難所になった際に、大勢の避難者に食事を配る実体験をするため、給食を使って実際に配食を行う防災訓練を今年の3月に体育館で行いました。この訓練に啓成・車尾地区の自治会長さんにも多数参加していただき、中学生からの食事を受け取り、体育館で中学生と一緒に食事を取っていただきました。

啓成・車尾地区 東山中学校 校長 秋田 治

いつも給食の配食を経験している中学生は、てきぱきと食事の準備や配膳をこなしていました。過去の阪神淡路大震災や東日本大震災では、避難所生活の中で中学生が大活躍したという報告もあります。何か起きてから行動するのではなく、日頃からいろいろな備えをしておくことが求められる中で、これからは避難所の運営や生活をどうしていくのか考えておく必要があると思います。地域と避難所となる学校との間で協議しながら、さまざまな活動や折り合わせを行いたいと考えています。



「自主防災会の取組み」

先日、7月23日（日）夜見6区防災会による講習会及び炊き出し訓練を行いました。お陰様で多くの住民の皆様にご参加をしていただき、盛り上がった講習会、炊き出し訓練を行うことができました。

平成25年4月1日から発足しました防災会による講習会、炊き出し訓練も早いもので今年で5年目、5回目ということになります。第1回は平成25年、米子消防署による「消火訓練」第2回は市役所、防災安全課による「原子力防災に関する講習会」第3回は同じく防災安全課による「自然災害と家庭でできる備えについて」第4回の昨年は「避難と防災グッズの作成」今年第5回目「体験！放射線の測定と避難グッズの作成について」を行いました。

夜見地区 夜見6区自主防災会 会長 内藤 昭紀

この講習会、訓練は防災に対する知識、意識の向上と啓発、住民同士のキズナ、つながり、連帯感を高め、住民がお互いに協力し、助け合い、人命救助や避難、誘導ができる体制が会を重ねることに充実し、力強く前進していると確信しています。



医療・保健・福祉 ホスピタウンネットワーク



医療法人
社会福祉法人

真誠会

米子ホスピタウン（河崎） 弓浜ホスピタウン（大崎）
米子中央ホスピタウン 外浜ホスピタウン 高齢者生活支援隊
（西福原、富士見町） （和田町、富益町）

米子市河崎580 TEL 0859-24-5666 <http://www.hospitown.or.jp/>

よなご日野郡人会

会長 田中 弘人

〒689-3543 米子市蚊屋200-46

TEL 0859-(27)-3188

「河崎校区御建自治会防災会の結成と活動継続について」

河崎地区 御建自治会 会長 北村軍二郎

御建地区防災会の前身は、御建自衛消防団であり、昭和51年3月に団員15名で結成しました。その後、現在の御建地区防災会（54名うち女性12名）となりました。

我々会員は、防火防災の意識が高く、消火訓練を月1回行っています。又、地区内の高齢者や独居老人の方々に對して、安心・安全のため、夜回りによる声かけ運動や、防犯活動を月2回行っています。

御建地区防災会では、小型ポンプ車を保有し、地区内で火災が起きたときは、実際に出勤し消火活動を行っております。また、地区内に「AED」を3箇所、消火器を5箇所設置しています。夜回りのときに点検を行い、地区内の安全確保に努めております。

平成25年度には、島根原発（UPZ30km以内）による、河崎地区原子力防災の避難訓練をJR、バス等により実施しました。それ以降、地域住民みんなで原子力防災に対しても意識を高く持つように努めているところです。

平成27年度には、鳥取県自主防災組織知事表彰をいただき、大変光栄に思っております。

地域の防災は、やはり地域を一番知っている我々の活動が最も大きな力になるものと思っております。これからも「自分たちの命は、自分たちで守る。」という自主防災の精神のもと、それぞれの活動を続けながら、地域防災の向上に少しでも貢献すべく決意を新たにしています。

「御建地域 夜回り隊」活動の様子



「防災連絡協議会について」

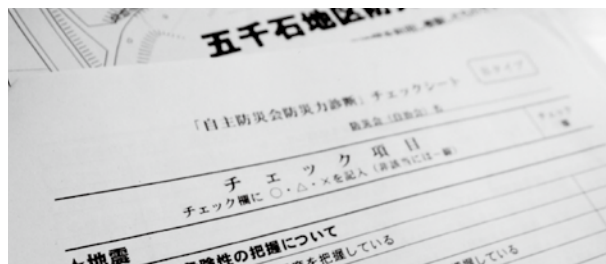
五千石地区 五千石地区防災連絡協議会 会長 湯原 剛文

五千石地区は、各自治会単位の「防災会」で活動していましたが、消防団など地区内の各種団体の連携を強化し、相互協力により、災害に強い安心して暮らせるまちづくりを目指して、平成27年に「五千石地区防災連絡協議会」を設立しました。

防災啓発を中心に据えた活動を行っており、27年度は「防災フェスタ」、28年度には「認知症行方不明者の搜索模擬訓練」を行ってきました。特に28年度は訓練後に行方不明が3件発生しました。十分な対応とは言えませんが、地域住民の意識の深まりが、行方不明者の早期発見へとつながりました。

29年度は、「生命の安全を確保するために」をスローガ

ンに、①防災チェックシートを使った弱点の発見 ②災害時連絡網の整備・充実 ③楽しく遊んで消防体験－僕らの町は僕らが守る－などを実施及び計画し、防災啓発や防災力の向上を目指しています。



「安心葬儀」“小さな葬儀”から“大きな葬儀”まで

ぴあべール

会館葬・自宅葬・寺院葬

(代) ☎ 39-2222

ぴあべール米子 ぴあべール・はまゆう
米子市両三柳103 米子市富益町2258-1



一般財団法人 恵仁会

恵仁会は、鳥取大学医学部及び医学部附属病院の教育・研究・医療活動に対し、支援を行っています。

また、売店、レストラン、ベーカリーカフェ、薬局等を運営し、患者さん・職員及び学生の皆様にサービスを提供しています。

〒683-8504 米子市西町36-1

鳥取大学医学部附属院内

TEL (0859)-38-7202 FAX (0859)-22-6566

<http://zai-keijinkai.jp>



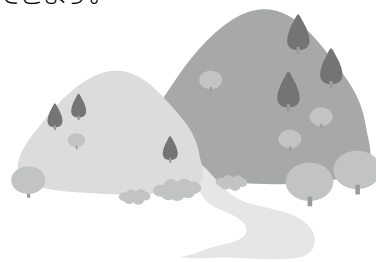
事例発表

淀江地区 小波浜自治会長 武部 博史

小波浜自治会は、海・川・山と自然にあふれた地域です。一番にこだわって取り組んでいることは、伝統行事の継承です。その中には、何代も前から受け継がれている行事があります。次世代に継承していくために、地域に合った内容に変更し、柔軟に考え、地域で話し合い、また若い世代との意見交換をしながら改革を進めています。

二番目に環境整備、美化活動に力を入れて活動しています。川の清掃などは地域全体で取り組んでいます。きれいな川を次世代に引き継ぎ、蛍が住める環境の実現のため、鯉の放流を行う活動を続けています。また、自然豊かな地域を取り戻すために、海岸の松の植樹、山裾の桜の植樹をし、環境整備に力を入れた活動を行っています。

現在、自治会有志で、昔から地域住民が親しんだ自然の残っている湧水の場所の環境整備に取り組んでいます。水をテーマとした新しい発想での食品づくり、地域づくりを推進しています。こうした取り組みが、地域の特性の再発見につながり、夢、想いを共有することで、地域住民のパワーがさらに発揮されます。そして、新しい発想、行動が生まれ、活発な自治会活動を次世代につなげていくことができます。



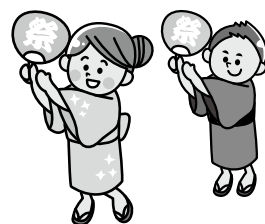
◎会長
○副会長

淀江	大高	春日	五巖	永石	尚江	成徳	夜実	富見	和田	大津	崎津	彦名	福米西	福米東	福生西	福生東	河崎	加茂	車尾	住吉	義方	就将	明道	啓成	
足立	奥田	後藤	内田	藤岡	湯原	○松井	○鷺見	○脇坂	○松本	○手島	田邊	吉岡	武良	木村	堀上	◎福景	○山中	○北村	加藤	高野	森脇	○杵築	○上橋	大西	昭彦
英市	修登	欣二	頼雄	博己	克英	喜均	喜啓	喜眞	忠博	忠雄	賢元	吉治	吉春	純寿	康則	順一	通正	二朗	和男	卓夫	俊朗	晃治	興紀	昭彦	

平成29年度
米子市自治連合会
常任委員(各地区自治連合会長)
のみなさん

がいな祭 募金へのご協力ありがとうございました。

「第44回米子がいな祭」の開催にあたりまして毎年格別なご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も自治会を通じて変わらぬご支援を賜り、**2,745,983円**(9月7日現在)もの募金をいただきました。厚くお礼申し上げます。



編集後記

今号は、防災について特集を組ませていただきました。近年、自然災害の多発により大きな被害が発生しております。昨年は熊本地震や鳥取県中部地震、本年に入ってから二度の大雪や九州北部豪雨による水害等。鳥取県西部地震から早や十七年が経過し、あの恐怖の記憶もだんだんと薄れてきている今日この頃です。今後予想されている大きな地震は東南海地震があります。米子でも震度5強位の揺れが長く続くと予想されています。災害に遭遇したらまずは「自助」次いで「共助」を徹底し、被害を最小限にとどめなければなりません。自治会及び自主防災会の役割は非常に大きいものがあります。今号の記事が参考になれば幸いです。

最後になりましたが、記事をお寄せいただいた皆様にお礼と感謝を申し上げますとともに、今後とも皆様のご支援・ご協力をお願いします。